

平成 18 年 3 月期 第 3 四半期決算のポイント

1. 実績について

(単位：億円)

	連結			単体		
	実績	前期比	前期差	実績	前期比	前期差
売上高	5,603	119.2%	902	3,312	101.7%	55
営業利益	261	160.3%	98	176	152.8%	60
経常利益	264	151.3%	89	187	116.1%	26
四半期純利益	157	124.6%	30	117	84.9%	20

<連結概況>…平成 16 年 3 月期の四半期決算開示以後、売上高、各利益で過去最高を更新

- **売上高…前期から 902 億円の増収（うち岩田屋 752 億円）**
伊勢丹単体は 55 億円増収となりました。店舗別では本店が 36 億円の増収、支店でも店舗改装中の浦和店を除く 5 店舗が前年を上回りました。
国内子会社は、新店効果によりパ・ニース・ジャパンが 27 億円、クイーンズ伊勢丹が 11 億円それぞれ増収となり、海外子会社は、東南アジアが 33 億円、中国が 13 億円それぞれ増収となりました。
- **営業利益…前期から 98 億円の増益（うち岩田屋 10 億円）**
売上高が増加し、売上総利益率も 0.31%向上したことにより売上総利益は 280 億円増益となりました。なお伊勢丹単体の売上総利益率も 0.62%向上しました。
販売費及び一般管理費は岩田屋分で 199 億円増加しました。伊勢丹単体では売上増により手数料など変動費が増加しましたが、人件費を中心に経費削減に努めた結果、15 億円の削減を達成しました。その結果、連結合計で 182 億円増に抑えました。
- **経常利益…前期から 89 億円の増益（うち岩田屋 7 億円）**
前期の不動産売却による受入家賃減少などにより、営業外収支は 8 億円前年に比べ悪化しました。
- **四半期純利益…前期から 30 億円の増益（うち岩田屋 7 億円）**
主な特別損益は伊勢丹ダイニング株式売却による特別利益 7 億円でした。

2. 平成 18 年 3 月期の業績予想について

(単位：億円)

	連結		単体	
	今回予想	前回差	今回予想	前回差
売上高	7,480	80	4,420	70
営業利益	300	30	200	20
経常利益	310	30	215	15
当期純利益	190	30	130	5

前回差は平成 17 年 11 月 10 日発表時の予想との差額

<業績予想のポイント>…売上高、各利益について連結、単体とも上方修正

- **単体**
10 月以降も売上が防寒衣料などを中心に本店をはじめ各支店とも予想を上回る水準で推移していることから、売上高、各利益とも前回予想から上方修正を行います。
- **連結**
伊勢丹単体の好調に加え、国内外の百貨店も順調に業績が推移していることから、売上高、各利益とも前回予想から上方修正を行います。